



団長紹介

牛久市消防団長 高島 晃一

消防団員歴38年 団長歴3年

建設会

社に勤務する高島団長は、毎日、工事現場で重機を操っています。消防団長として出席する行事、会議、研修なども多く、多忙な日々を送っています。



消防団活動においては、気さくな人柄と指導に関する厳しさの両方を兼ね備え、団員から厚い信頼を得ています。また、8人のお孫さんを持つおじいちゃんであり、自宅にカラオケ道場を開いて生徒さんの指導に当たるなど、たくさんの方の顔を持ち合わせていて、地域

の方々から「唄の先生！」と呼ばれ慕われています。

団長あいさつ

私は消防団員拝命以来、さまざまな火災現場に立ち、火の恐ろしさを学んできました。

牛久市では近年、火災の発生件数が昔と比べ少なくなっており、これは、ひとえに住民の方々の防火意識の高まりによるものと感じているところでありますが、それでも尊い命や家を無くすような火災が年間数件発生しております。全国に目を向ければ、毎年およそ2000人の方が火災によって亡くなるという痛ましい現状があります。

常備消防が整備された今日、消防団の活動は目立たなくなりましたが、消防団の担う役割は、町並みや社会構造の変化、災害の多様化など、時代の流れと共に大きさを増しています。団長という立場に立った今日においては、消防団の必要性を一層強く感じている次第であり、今後も、住民の皆様にご理解され、慕われる消防団を目指して精進して参ります。

市内の名所や施設が 映画やドラマの舞台で活躍しています！

昨年4月から今年2月までの間に、市内で撮影された映画やテレビドラマなどの実績をお知らせします。

ジャンル	作品数	撮影 日数	エキストラ 出演数
テレビドラマ	11	11	5
CM	1	3	0
情報・報道番組	7	9	0
映画	3	4	60
バラエティー	1	1	0
音楽ビデオ	0	0	0
その他	1	1	0
合 計	24	29	65



撮影された主な作品は『死刑台のエレベーター(平成22年秋公開予定)』(映画)や『TBS 日曜劇場「仁」』(ドラマ)、『オトコマエ! 2』(ドラマ)など、全部で24作品・延べ29日の撮影日を数えます。

施設使用料や飲食料金・宿泊代金などの市内にもたらした経済効果はおよそ600万円と推測されます。

なお、撮影場所は病院が8作品と最も多く、牛久大仏が6作品、牛久自然観察の森と牛久クリーンセンターが3作品となっているほか、市内の工場や個人のお宅でも1作品が撮影されました。撮影にご協力いただいた皆さんにお礼申し上げます。

問い合わせ 牛久フィルムコミッション事務局(牛久市観光協会内) ☎874-5554